

第66回 日本PTA全国研究大会 新潟大会 参加報告書

富士市PTA連絡協議会

副会長 上野英樹

第66回日本PTA全国研究大会新潟大会に参加してきました。

『教育は未来を拓く 新潟発 米百俵の精神！ ～新潟に集い、語ろう 未来のひとづくり～』をスローガンに掲げ行われました。

分科会は新潟各地で行われ、全大会は長岡市で行われました。

1日目の分科会は新発田市で行われた特別第一分科会参加しました。

研究課題は「いじめ」心の声に気付くには ～見逃さないためにできること～、阿形恒秀氏の基調講演をはじめパネルディスカッションが行われました。

2日目は長岡市のアオーレ長岡とバイブ長岡の二つの会場をモニターでつないで全大会が行われました。

ダンスや吹奏楽などのアトラクションが行われ、記念講演は地元新潟県三条市出身の俳優高橋克実氏が行いました。

演題は『夢を追いかけつかんだ俳優人生』で、写真をもとに時代を振り返りながらMCがいろいろな話を聞き出す展開で進められました。

二十歳を過ぎていろんな俳優オーディションを受けたがほとんど落選でなかなか日の目を見ることがなく、そんな中5,6人で舞台をはじめ10年ほど続けました。

好きなことをやっているので大変だとは思わなかったが30歳過ぎてまわりには俳優をあきらめていく人が多くいた。

そんな中ふと立ち止まりいろいろ考えたが今更三条へは帰れないと俳優を続けました。

そして転機となる作品に出合い徐々に芽が出始め、多くの先輩俳優と出会いいろいろな話を聞き、多くのことを学び夢に近づいていきました。

いくつからでもなんでもやれる、身近にあることをなんでもやる、楽しいことを求める、楽しくすることが大切である。

できなかったからといってくよくよする必要はない、いつチャンスに巡り会うかわからない、挫折してもまたチャンスがあると思うこと、傷ついた方が見方も増える、失敗やへこんだことが糧になる。

前に前に進むことがいかに大切であるかと教えられました。

そんな高橋さんもまだ夢は掴んでおらず夢を追いかけ続けているとのことでした。

この二日間で学んだことを生かし子供たちが夢をもち、夢に向かって進めるような環境づくりを心がけてこれからのPTA活動につなげていきたいと思えます。